

■テーマ: ホワイトボード活用術～まずは慣れることから始めましょう～

■日 時: 平成24年8月23日(木)18:45～20:45

■場 所: 新潟市万代市民会館(アルザにいがた)307、308会議室

■ねらい: 場のデザインと「見える化」が話し合いを活性化させ、質の高い合意を得る第一歩である。そのための道具として手軽で有効なのがホワイトボードである。ホワイトボードが少しずつ普及しているとはいえ、まだまだ自信を持って活用している人は少ない。今回の例会では、ホワイトボードの前に立つには自信がないという人に対して、まずは慣れてもらうことを第一の目的として、次に効果的な使い方を学んで、実際の現場での活用に活かしてもらう。

■担当 F: 加藤 (新潟サロン Fanii 運営メンバー)

■参加者: 18名(会員 6名) ※運営スタッフ 5名含む。

■例会担当: 加藤、田中

■内 容

【オープニング・アイスブレイク】

ゴールとスケジュールの提示

手上げアンケート

- ・現場にいつでも使えるホワイトボードがある
- ・ミーティングでホワイトボードを活用している
- ・ホワイトボードの板書を担当することがある。
- ・たまには板書を担当する。
- ・板書を担当したことがない

【レクチャー】

書き方のコツ、発散の仕方

【ワーク1】(個人)

- ・一人一枚のどこでもシートに自分のこと書いてみる
- ・テーマは4つ(名前、故郷、活動分野、ランチ) 深めてみる

【ワーク2】(ペア)

色の違うマーカーを使っている人とペアになり、シートを交換して、発散フレーズを使ってさらに深めてみる

ワーク(一人3分、その後交代)

- ・発散フレーズで深める
- ・聴きながら書くことに慣れる

【ワーク3】(グループ)

手上げアンケートを踏まえ、経験値順に並び、均等にばらけるよう4人1組でグループ分けする。

ホワイトボードを四等分し、一人は書く人、一人は自分のことを話す人、残りの二人は聴く人とし、役割を交代して進める朝ミーティングを想定し、活動分野に関する現在の現状を発散(3分)し、その後、課題に収束(1分)、今後のアドバイスで活用(2分)とする。

ポイント:ホワイトボードの前に机を平行におく。

発散、収束、活用ごとにマーカーの色を変えてみる。

・発散は「黒」、収束は「赤」、活用は「青」

【ワーク4】(グループ)

社長に指名されたプロジェクトメンバーとして、久しぶりの運動会の企画をすることになった。目的は、社内の融和で、具体的な内容は任せられている。運動会の企画をテーマに話し合いをしてもらう

- ・どんな会社か、前提条件をすり合わせる
- ・どんな運動会にしたいか(発散)1人4分ずつ2人
- ・コンセプトの決定(収束)4分1人
- ・今後の段取り(活用)4分1人

【振り返り】(グループ)

グループごとに、感想、ホワイトボードのメリット、マーカーの色分け、工夫などについて話し合ってみる。

■アンケート

【今日のセッションで何か気づきはありましたか？】

- ・発散、収束、活用、このプロセスで何をしたらよいのか、どんなことを考えて発言したらいいのか、基本がわかった。シンプルなマーカーの使い方もとても分かりやすくボードが書いて見やすくとても勉強になりました!!
- ・ファシリテーショングラフィックの書き方の講習と思って参加したが、それ以前に大切な“基本”があることを教えて頂いた。特に、3色の色を使う、3つの段階の意識、意見に固有名詞を付けないこと、とても大きな学びであった。
- ・とにかくやるのが大事だなあ ということです。知識や技にこだわらず使っていくことが技術の上達に繋がると感じました。子供もきっとやれると思いました。子供も使い手になれるようにします。
- ・ファシリテーションはやはり難しいということに気づいた。ホワイトボードの活用法というテーマだったので、書き方のコツ、活用のコツを具体的に指導してほしかった。(もらえると思って参加しました…) ex)①~⑩とNo.を付けるなどその他のテクニックをもっと知りたかったです。
- ・真真中にメインテーマを書く!! マーカーの色を分ける。つぶやきを拾う。
- ・色の使い方、テーマの配置場所、リラックスとした雰囲気をつくり方、話し合いに最適な人数。今日も勉強になりました!
- ・ファシリテーターをやる人によって、話し合いの流れが変わることがわかりました。
- ・3色のペンでわかりやすかった。発散、収束、活用の違いが分かった。
- ・発散を促すフレーズ、収束させる質問、活用のための質問、ファシリテーターの心得など、基本的なことが学べたことが良かった。
- ・発散、収束、活用毎に、時間を決めること、色を分けることが非常に効果的で、こんな風に毎回会議がスムーズに運べるといういなあと思った。
- ・3色分けの技法のメリットを体感で来てよかったです。時間のなかで効率よく発散させるためには最初の設定(ベクトル合わせ?)が大切と思った。
- ・やっぱり難しいです。他の方の書いたのを見たらうまい!と思う自分があります。ヘタなりに何回もやってみることが大事でしょう。発散→黒、収束→赤、活用→青。覚えました。ありがとうございました。簡単なイラストが書きたい!!書きたい!!初めての人向けにまたやってください。
- ・ホワイトボードをこのような形で書くのは初めてでした。もっとかけると思いましたが、以外に書けませんでした。人を見ていて、やっぱりコツがあるのが分りました。

【(初めての参加の方へ)あなたがファシリテーションを勉強しようと思ったきっかけは何ですか？】

- ・地域づくりの仕事をしていて、住民の意見を平等に引き出させるようにしていきたくったから。
- ・ファシリテーショングラフィックの本を読んで、思考を広げたり深めたりするのに応用できるかと思いました。教育にも使えるかと思います。
- ・通常の会議では、どうも結果がついてこないと思っていたので。

【あなたがファシリテーションを活用している、またはしようとしている場は？】

- ・企業(ビジネス系) **33%**
- ・NPO まちづくり系 **28%**
- ・行政系 **6%**
- ・医療・福祉系 **17%**
- ・教育(学校・社会・国際系) **11%**
- ・その他(音楽イベント) **6%**

【この例会を知ったのは、いずれの媒体から？】

- Fanii ブログ **17%**
- Fanii からのメール **25%**
- FAJ ホームページ **8%**
- WWA メーリングリスト **0%**
- Fanii 会員の口コミ **8%**
- Fanii 会員以外からの口コミ **17%**
- その他(Facebook) **25%**

【担当 F からのコメント】

- ・夜例会の宿命として、開始時間に全員が集まることができない、急な用事でキャンセルが出てしまうということがあります。導入部分に多めに時間を取ったことと、運営メンバーから臨機応変に参加してもらったことで、何とか本題のグループワークを予定どおり実施することができました。ありがたかったです。
- ・ほとんどの参加者は、ホワイトボードの板書の経験があり、どちらかという今までやってきたことの確認的な意味合いが大きかったようです。今回は、合意を目指すというより、参加者に均等に経験を積んでもらうことを主眼としたので、段階ごとに時間を区切って、板書をしてもらいました。少しあわただしさや不完全燃焼感もあったと思いますが、ファシリテーターの心得やファシリテーションの合意に至るプロセスを体感していただいたように思います。
- ・若干詰め込みすぎであったことと、ワークの説明に手間取り、最後のまとめの時間が不足してしまいました。今後の課題としたいと思います。

以上です、最後までお読みいただきありがとうございました。